

京都府立洛南病院 施設整備計画策定業務
【施設整備計画説明書 概要版】

平成30年2月

施設整備計画説明書 概要版

目次

1. 計画条件の整理

- 1-1. 計画条件の整理
- 1-2. 施設コンセプトの明確化
- 1-3. 施設規模の算定

2. 計画概要

- 2-1. 敷地利用計画
- 2-2. 配置計画
- 2-3. 平面計画
- 2-4. 断面計画
- 2-5. 床面積の比較検討
- 2-6. 課題事項の整理

■ 1. 計画条件の整理

1-1. 計画条件の整理

(1) 敷地概要

敷地所在地：京都府宇治市五ヶ庄広岡谷2番地
 病院敷地面積：35,656.21㎡(計画通知記載面積)
 用途地域：第一種中高層住居専用地域
 高度地区：第二種高度地区(7.5m+1:0.6勾配、最高限度20m)
 防火地域等：準防火地域
 日影規制：4.0m 4.0-2.5h
 建ぺい率：60%
 容積率：200%
 その他規制等：都市計画法(開発)・宅地造成等規制法に係る相談
 宅地造成等規制法(宅地造成工事規制区域)
 土壤汚染対策法
 駐車場法
 建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律
 (省エネ適合性判定)
 高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律
 京都府福祉のまちづくり条例
 京都府地球温暖化対策条例
 京都府環境を守り育てる条例
 宇治市まちづくり・景観条例(事前相談)
 宇治市都市景観条例
 宇治市屋外広告物条例
 宇治市開発事業ガイドライン

(2) 現況施設概要

開設年月日：昭和20年6月1日
 診療科：精神科
 診療規模(入院)：256床(許可病床数)、6看護単位
 診療規模(外来)：150人/日
 基準サービス：入院時食事療養費(1)(平成12年10月)
 栄養管理実施(平成18年4月)
 精神病棟入院基本料3<15:1>=3看護単位(平成18年4月)
 精神科救急入院料=2看護単位(平成18年6月)
 精神科急性期治療病棟入院料=1看護単位(平成22年7月)

(3) 案内図(院内パンフレットより)



(4) 病棟構成

現況			整備後		
病棟名	ユニット名	病床数	病棟名	ユニット名	病床数
第1病棟	救急(男性)	36床	救急1	救急閉鎖(男性)	38床
第2病棟	救急(女性)	36床		薬物依存症(男性)	14床
第3病棟	認知症(急性期・男女)	34床	救急2	救急閉鎖(女性)	37床
第5病棟	開放(男女)	51床		重度うつ(男女)	7床
第7病棟	閉鎖(男性)	50床		救急開放(男女)	7床
第8病棟	閉鎖(男女)	49床	専門1	児童・思春期(男女)	16床
				慢性開放(男女)	25床
			専門2	認知症(男女)	15床
				重度慢性(男女)	45床
			医療観察	急性期(男女)	3床
				回復期(男性)	5床
				社会復帰(男性)	5床
				女性(女性)	4床
合計		256床	合計		221床

(5) 現況駐車台数

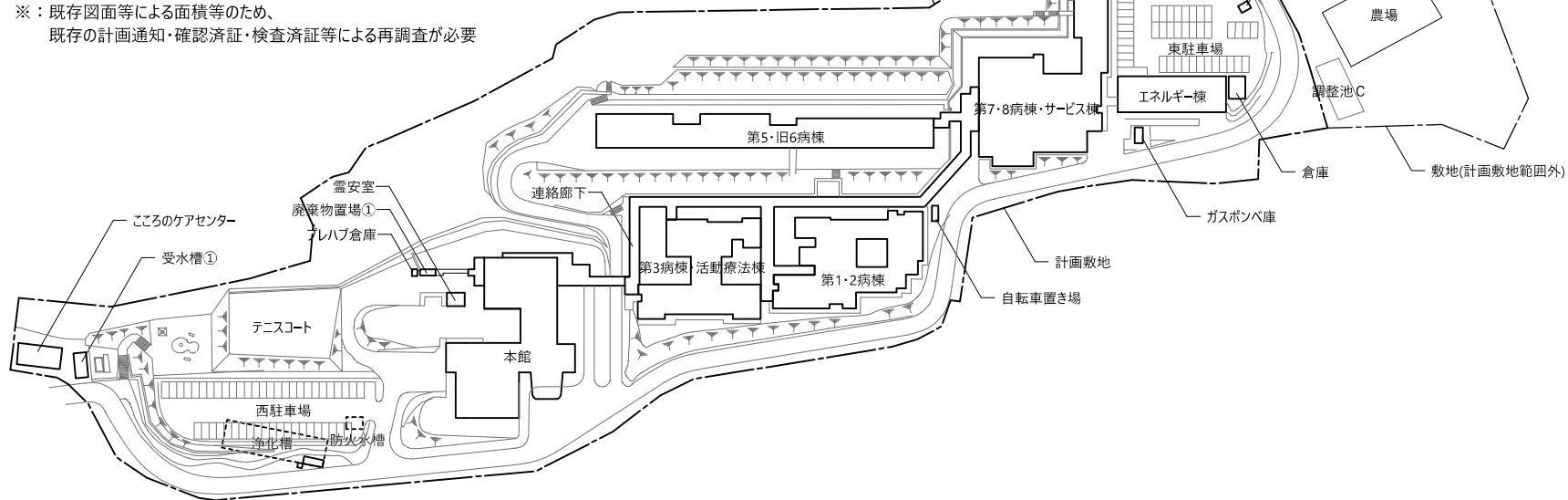
西駐車場(患者用) : 48台
 本館前 : 6台
 東駐車場(職員用) : 49台

} 計 103台

(6) 配置図・既存建物一覧

建物名称	検査済証等	構造・規模	建築面積	床面積
※こころのケアセンター	不明	RC 1F	不明 m ²	不明 m ²
※受水槽①	不明	FRP 1F	8.00 m ²	8.00 m ²
本館	61字計第102号 (検査済証)	RC一部S、SRC B1F/3F	1,226.98 m ²	2,367.06 m ²
※霊安室	不明	RC 1F	35.00 m ²	32.00 m ²
※プレハブ倉庫	不明	RC 1F	10.00 m ²	10.00 m ²
※廃棄物置場①	不明	RC 1F	4.00 m ²	4.00 m ²
※第1・2病棟	不明	RC 2F	1,730.12 m ²	1,742.44 m ²
※第3病棟・活動療法棟	不明	RC 2F		1,295.28 m ²
※連絡廊下	不明	S 1F	459.00 m ²	- m ²
第5・旧6病棟	60字計第97号 (建築確認番号)	RC 2F	941.79 m ²	1,755.10 m ²
※自転車置き場	不明	S 1F	10.00 m ²	- m ²
※第7・8病棟・サービス棟	不明	RC B3F/2F	1,958.00 m ²	2,723.00 m ²
※エネルギー棟	不明	RC 1F		336.00 m ²
※ガスボンベ庫	不明	CB 1F	13.00 m ²	13.00 m ²
※倉庫	不明	S 1F	39.00 m ²	39.00 m ²
※可燃物置場	不明	CB 1F	9.00 m ²	9.00 m ²
※廃棄物置場②	不明	RC 1F	10.00 m ²	10.00 m ²
※資材物置場	不明	S 1F	8.00 m ²	- m ²
※受水槽②	不明	FRP 1F	- m ²	- m ²
※ポンプハウス	不明	FRP 1F	9.00 m ²	9.00 m ²
		合計	6,470.89 m ²	10,352.88 m ²

※：既存図面等による面積等のため、
既存の計画通知・確認済証・検査済証等による再調査が必要



現況

配置図 A3:1/1,500

1-2. 施設コンセプトの明確化

洛南病院の既存施設は、昭和58年度から昭和62年度にかけて建築された。建設から約30年が経過し、患者層の変化や外来患者の増加など当時からは患者の性質が異なってきている。

また、開発許可要件を満たさない敷地(幹線道路へ至る経路の幅員不足)であるため、敷地の区画形質の変更・高さの変更を行う造成工事はできない。さらに、グラウンド及び農地として利用している土地は登記上の地目が病院敷地であるものの、過去に建物が建った経過が無い。そのため、病院敷地として利用するためには開発許可がとなり、病院敷地として利用することができないことから、建替は西駐車場を起点に行う必要がある。なお、東駐車場では十分な敷地面積の確保が困難なため、今回の建替用地としては不十分であることを基本構想までの検討で結論付けている。

以上を踏まえ、次の3点を整備計画のコンセプトとする。

- ・ 既存の地盤レベルを生かしたアプローチと階構成
- ・ 敷地の利用効率、動線効率の向上を図った高層化
- ・ 外来部門の拡張と、ゆとりのある病棟計画

1-3. 施設規模の算定

洛南病院の特徴として、スーパー救急の受入れを積極的に行っており、初発または再燃状態の入院患者が多いことが挙げられる。急性期の患者の療養環境確保には他者からの干渉を少しでも避ける必要があることから、救急1、救急2の2病棟は全て個室の病室とする。その他の病棟も救急からの転棟・療養環境の向上を考慮し、個室率を最大限に確保する計画とする。なお、慢性開放ユニットおよび重度慢性ユニットは入院患者数の減少が見込まれることから、多床室は可能とする。

また、病棟が6看護単位から4看護単位9ユニットに再編されることに加え、新たに医療観察法病棟を開設されること、高層化により屋外利用が困難なことから、各病棟内に充実した共用スペースが必要となる。

一方で、精神疾患の治療に有効な作業療法室の閉鎖病棟内設置、退院後の患者サポートを積極的に行うためのデイケアの充実、身体を動かすことにより気持ちを落ち着かせられるスペースなど、リハビリテーションによる積極的な治療を可能とする環境整備も求められている。

近年では、外来患者の数も増えており、慢性的に診察室及び相談室が不足している。MRI導入の計画など外来部門の強化にも力を入れる病院の方針があることから、待合空間をはじめとした患者アメニティの向上に配慮が必要である。

(1) 建替後の個室率

病棟名	ユニット名	病床数	目標個室数	目標個室率
救急1	救急閉鎖 (男性)	38床	38床	100%
	薬物依存症 (男性)	14床	14床	100%
救急2	救急閉鎖 (女性)	37床	37床	100%
	重度うつ (男女)	7床	7床	100%
	救急開放 (男女)	7床	7床	100%
専門1	児童思春期 (男女)	16床	16床	100%
	慢性開放 (男女)	25床	17床以上	約70%以上
専門2	認知症 (男女)	15床	15床	100%
	重度慢性 (男女)	45床	13床以上	約30%以上
医療観察		17床	17床	100%
合計		221床	221床	—

(2) 建替後の診察室、相談室数

現況	室数	建替後	室数	増減
診察室 (一般)	6	診察室 (一般)	6	± 0
診察室 (児童思春期)	0	診察室 (児童思春期)	2	+ 2
診察室 (救急)	1	診察室 (救急)	1	± 0
相談室	2	相談室	7	+ 5
心理検査室	0	心理検査室	2	+ 2
心理相談室	1	心理相談室	1	± 0
合計	10	合計	19	+ 9

(3) 建替後の各部門面積

部門	現況面積	部門	計画面積	増減
病棟	5,071 m ²	病棟	10,531 m ²	+ 108 %
外来	370 m ²	外来	620 m ²	+ 68 %
診療	684 m ²	診療	1,164 m ²	+ 70 %
供給	645 m ²	供給	610 m ²	- 5 %
管理	1,034 m ²	管理	1,531 m ²	+ 48 %
共用	3,536 m ²	共用	4,535 m ²	+ 28 %
合計	11,340 m ²	合計	18,991 m ²	+ 67 %

■ 2. 計画概要

2-1. 敷地利用計画

(1) 配置計画

既存西駐車場を起点に建替を行い、敷地西側にⅠ期棟・Ⅱ期棟、来客・スタッフ用駐車場を整備する。ただし、敷地北側には10m程度の擁壁及び近隣住戸があることから、近隣住戸への視線及び日照に配慮し、敷地境界からは適切な離隔を確保するものとする。なお、患者・サービス動線の短縮のため、Ⅰ期棟地下にはサービス用、Ⅱ期棟地下部分には患者用駐車場など、各動線に配慮した位置に駐車場を整備する。

また、デイケアのプログラムで利用しやすいよう、デイケア部門に近い、既存第5・旧6病棟の付近にテニスコートを整備する。既存7・8病棟付近は更地とし、今後の建替計画等の余地とする。

(2) 患者・見舞い動線

敷地のアクセスは現在と同じ敷地北西側とする。

自家用車・タクシーで来院される患者・見舞いはⅠ期棟東側の車寄せもしくはⅡ期棟の地下駐車場(1階レベル)の駐車場を利用する計画とする。送迎バスの利用者はⅡ期棟地下駐車場にあるバス停にて乗降する。

デイケア等で屋外の施設を利用する場合は、Ⅱ期棟の連絡橋を渡ってテニスコート、グラウンド、農福連携事業用地、農場とそれぞれの施設へ向かう。来客・スタッフ駐車場は歩道を整備し歩車分離を徹底することで、患者の安全を確保する。

医療観察法病棟への見舞い等の車両は、Ⅱ期棟2階正面に駐車場を整備することで、直接医療観察法病棟へ向かえる計画とする。

(3) スタッフ動線

スタッフの敷地へのアクセスも現在と同じ敷地北西側とする。

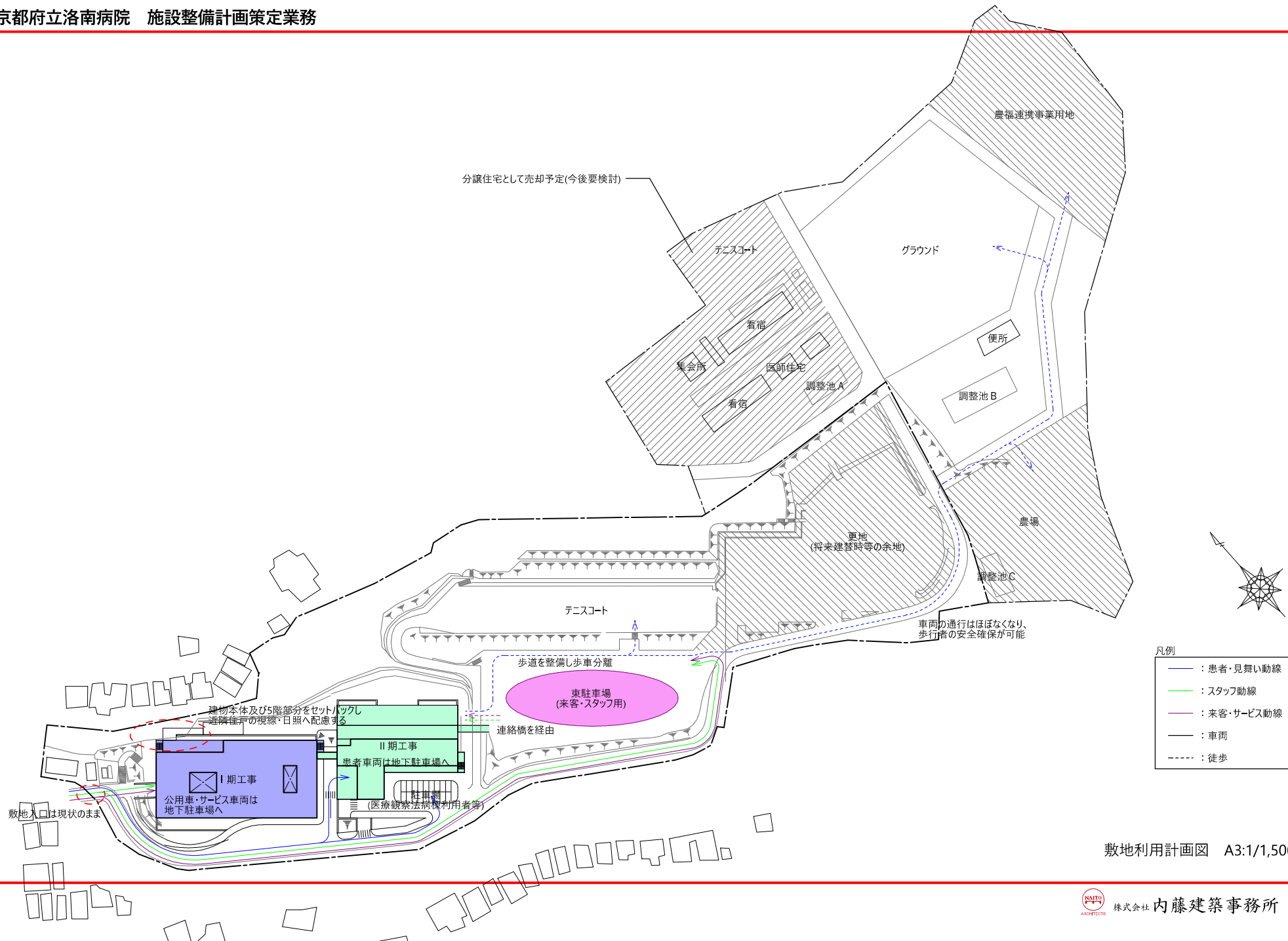
公用車はⅠ期棟地下1階、通勤等その他の車両は東側の来客・スタッフ駐車場を利用する。来客・スタッフ駐車場からⅡ期棟へは連絡橋で結ぶことにより、更衣室のあるⅡ期棟4階への通退勤時のスタッフ動線短縮を図る。

(4) 来客・サービス動線

来客・サービスも他の動線と同じく、現在と同じ敷地北西側からのアクセスとする。

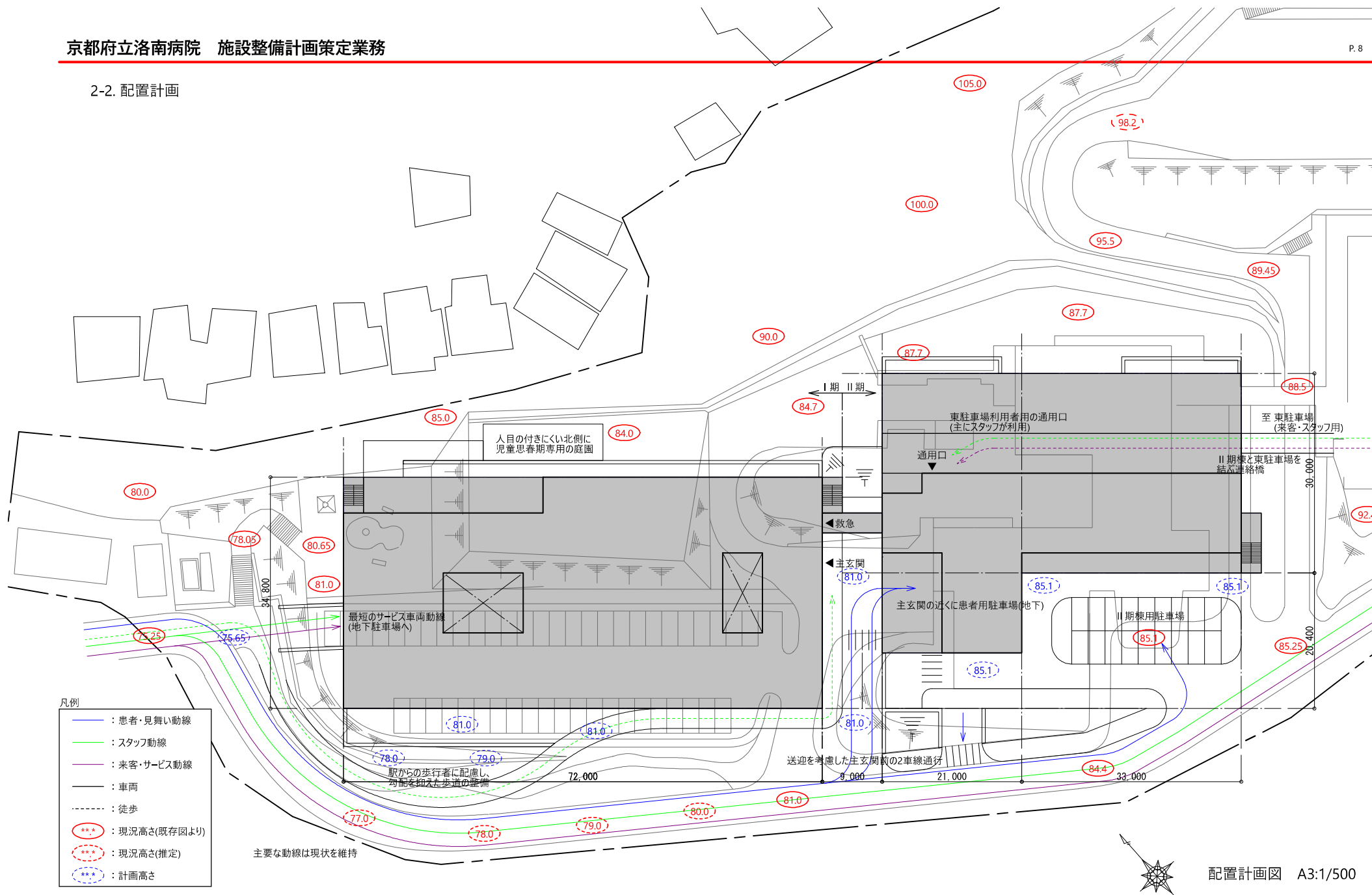
来客は医事課・会計課への訪問が主となることから、Ⅱ期棟東側の駐車場を利用し、連絡橋を渡ってⅡ期棟へ入れる動線計画とする。一般に開放される講堂は、Ⅱ期棟4階にあることから、一般の来客と同様の動線とする。

サービス動線はⅠ期棟地下1階にサービス部門が集約されていることから、Ⅰ期棟西側から直接アプローチできる計画とする。



敷地利用計画図 A3:1/1,500

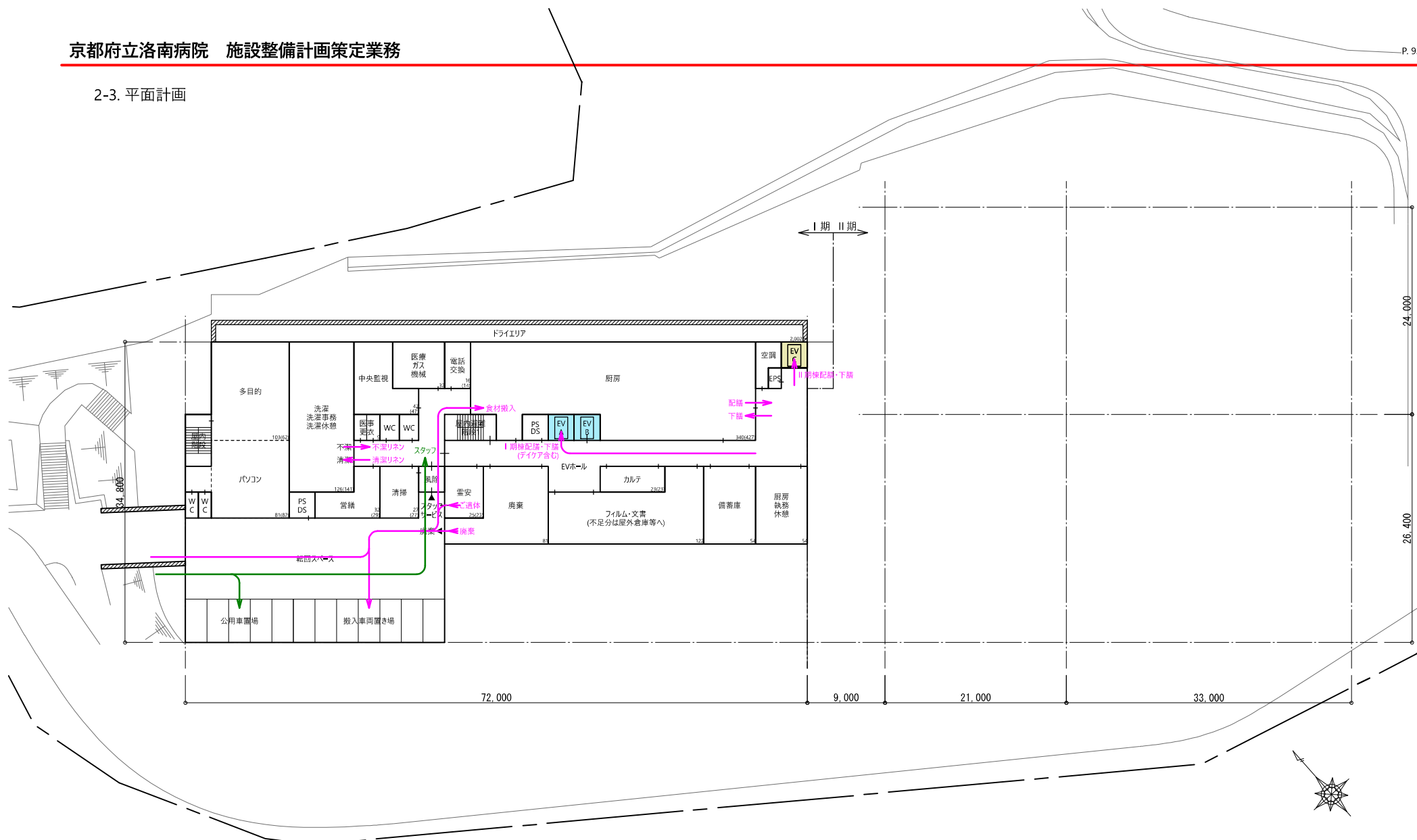
2-2. 配置計画



配置計画図 A3:1/500

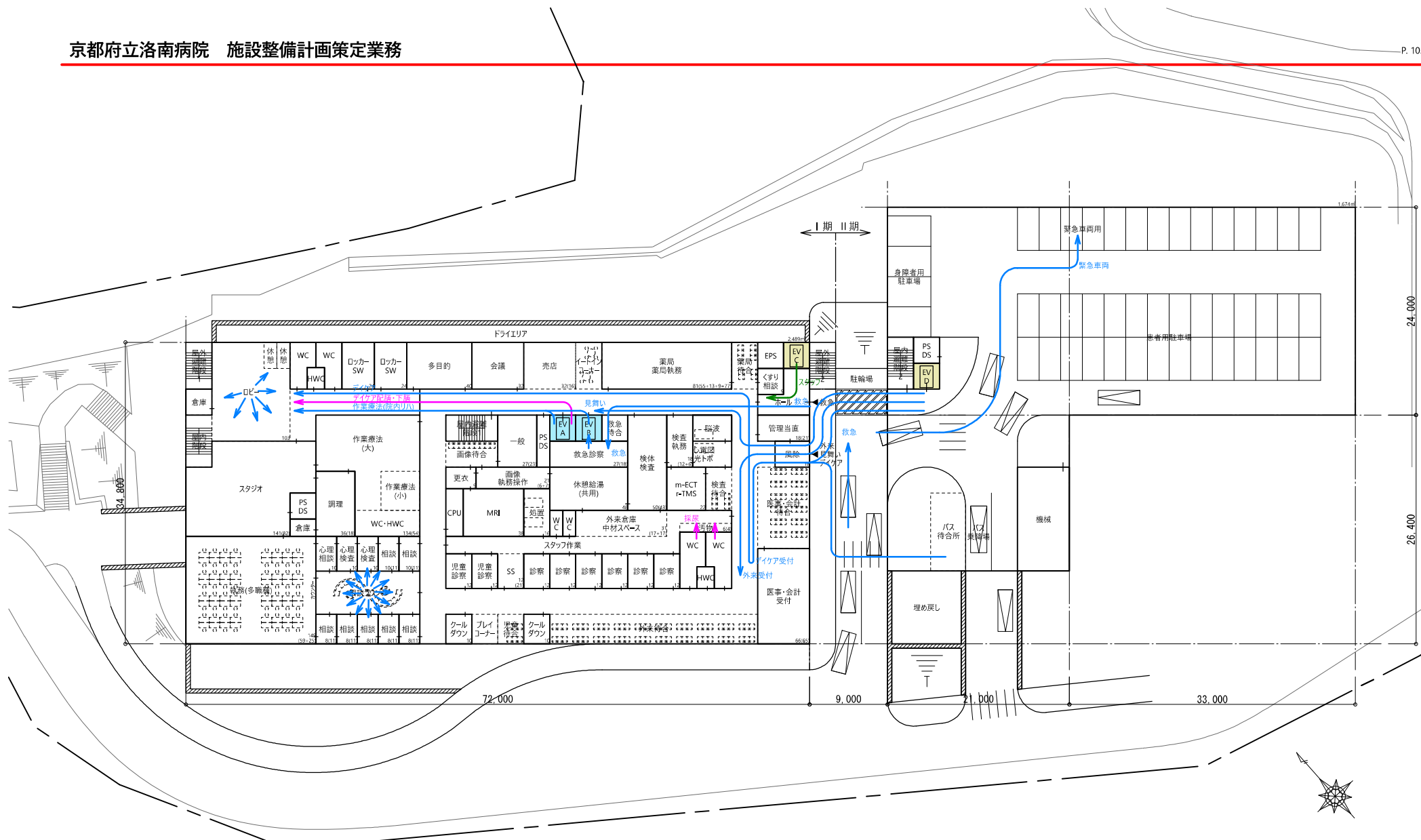


2-3. 平面計画



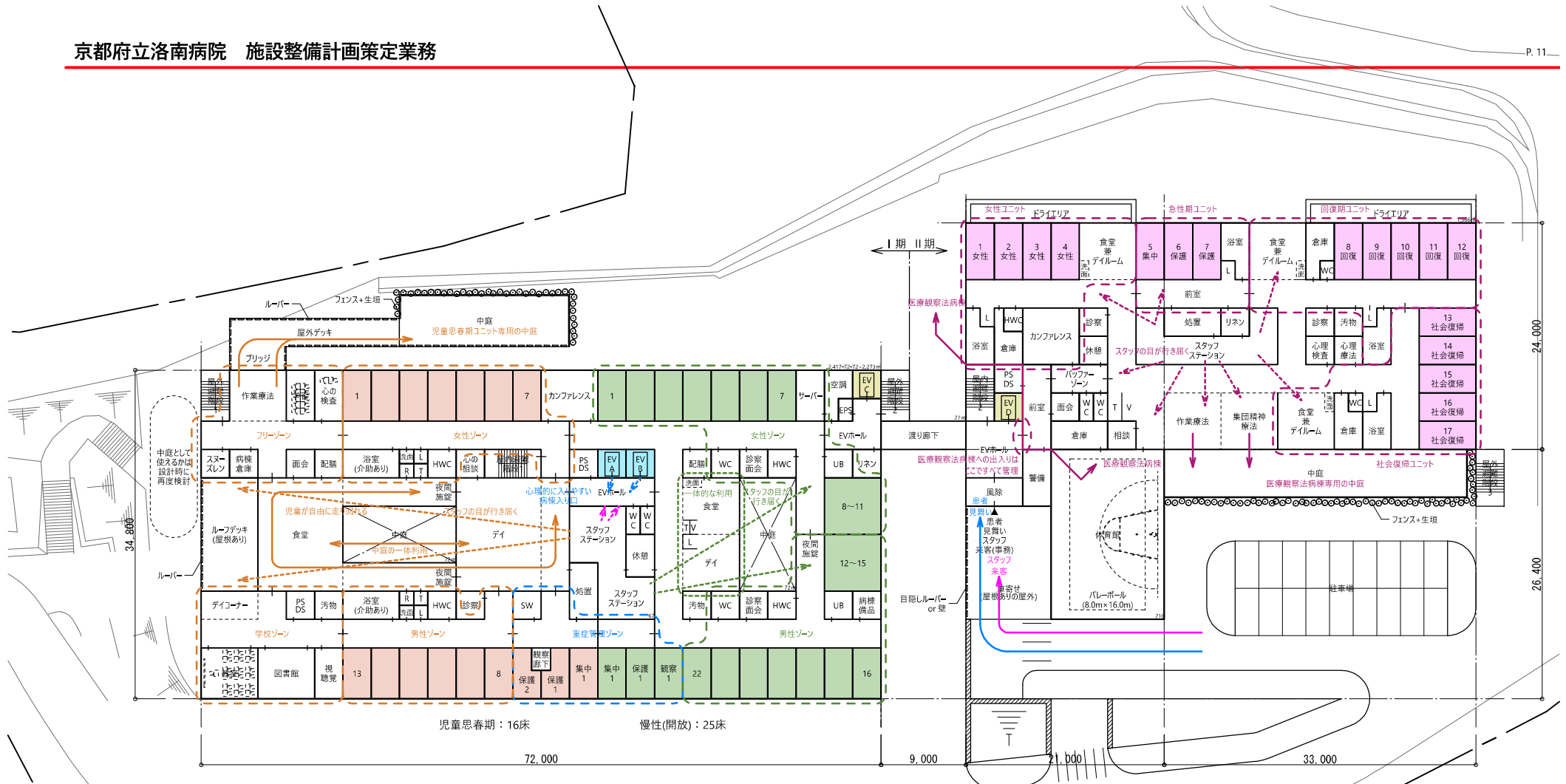
- 凡例
- | | | | | |
|----------------|-----------|-----------------|---------------|------------------------|
| ■ 一般・救急・サービスEV | ■ 患者・見舞い | WC : 一般トイレ(男女別) | EV : エレベーター | PS : パイプスペース(設備スペース) |
| ■ 救急専用EV(なし) | ■ スタッフ | HWC : 障害者用トイレ | T : 電話コーナー | DS : ダクトスペース(設備スペース) |
| ■ サービスEV | ■ 来客・サービス | SWC : スタッフトイレ | V : 自動販売機コーナー | EPS : 電気配管スペース(設備スペース) |
| | | SW : シャワールーム | L : ランドリーコーナー | |
| | | UB : ユニットバス | R : 冷蔵庫ロッカー | |

地下1階平面計画図 A3:1/400



- 凡例
- | | | | | |
|----------------|-----------|-----------------|---------------|------------------------|
| ■ 一般・救急・サービスEV | ■ 患者・見舞い | WC : 一般トイレ(男女別) | EV : エレベーター | PS : パイプスペース(設備スペース) |
| ■ 救急専用EV(なし) | ■ スタッフ | HWC : 障害者用トイレ | T : 電話コーナー | DS : ダクトスペース(設備スペース) |
| ■ サービスEV | ■ 来客・サービス | SWC : スタッフトイレ | V : 自動販売機コーナー | EPS : 電気配管スペース(設備スペース) |
| | | SW : シャワールーム | L : ランドリーコーナー | |
| | | UB : ユニットバス | R : 冷蔵庫ロッカー | |

1階平面計画図 A3:1/400



◆病棟構成

●専門1(計41床)

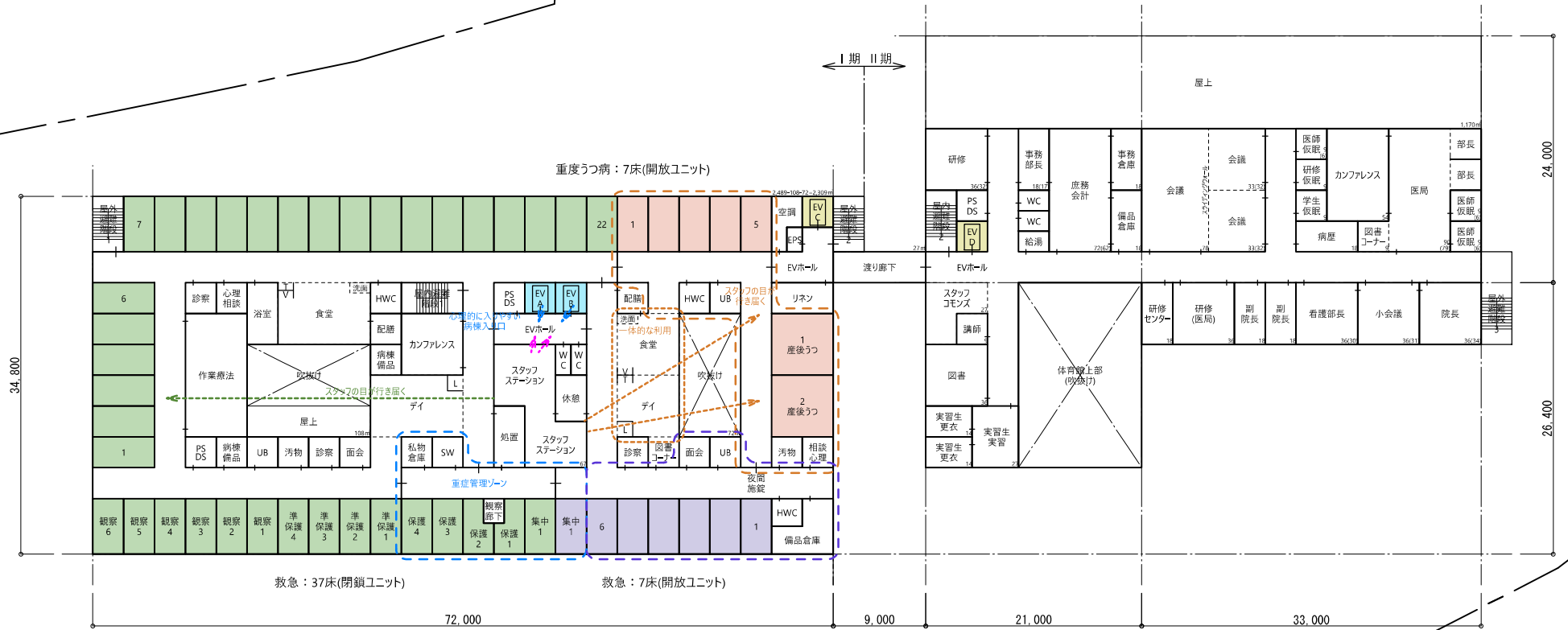
慢性(開放)：25床(うち隔離室2室、静養室1室)

児童思春期：16床(うち隔離室2室、静養室1室)

■凡例

- | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------------|----------|--------------|----------|---------------|-------------|-------------|------------|-----------|-----------|----------|-------------|-------------|-----------|--------------------|--------------------|----------------------|
| ■ 一般・救急・サービスEV | ■ 患者・見舞い | ■ 救急専用EV(なし) | ■ サービスEV | WC：一般トレイ(男女別) | HWC：障害者用トイレ | SWC：スタッフトイレ | SW：シャワールーム | UB：ユニットバス | EV：エレベーター | T：電話コーナー | V：自動販売機コーナー | L：ランドリーコーナー | R：冷蔵庫ロッカー | PS：パイプスペース(設備スペース) | DS：ダクトスペース(設備スペース) | EPS：電気配管スペース(設備スペース) |
|----------------|----------|--------------|----------|---------------|-------------|-------------|------------|-----------|-----------|----------|-------------|-------------|-----------|--------------------|--------------------|----------------------|

2階平面計画図 A3:1/400



◆病棟構成

●救急2(計51床)

- 救急(閉鎖) : 37床(うち隔離室14室、静養室1室)
- 救急(開放) : 7床(うち静養室1室)
- 重度うつ病 : 7床(うち産後うつ病床2室)

■凡例

- | | | | | |
|----------------|-----------|-----------------|---------------|------------------------|
| ■ 一般・救急・サービスEV | ■ 患者・見舞い | WC : 一般トイレ(男女別) | EV : エレベーター | PS : パイプスペース(設備スペース) |
| ■ 救急専用EV(なし) | ■ スタッフ | HWC : 障害者用トイレ | T : 電話コーナー | DS : ダクトスペース(設備スペース) |
| ■ サービスEV | ■ 来客・サービス | SWC : スタッフトイレ | V : 自動販売機コーナー | EPS : 電気配管スペース(設備スペース) |
| | | SW : シャワールーム | L : ランドリーコーナー | |
| | | UB : ユニットバス | R : 冷蔵庫ロッカー | |

3階平面計画図 A3:1/400



◆病棟構成

●救急1(計52床)

救急：38床(うち隔離室14室、静養室1室)

薬物依存症：14床(うち隔離室4室、静養室1室)

■凡例

- | | | | | |
|----------------|-----------|-----------------|---------------|------------------------|
| ■ 一般・救急・サービスEV | — 患者・見舞い | WC : 一般トイレ(男女別) | EV : エレベーター | PS : パイプスペース(設備スペース) |
| ■ 救急専用EV(なし) | — スタッフ | HWC : 障害者用トイレ | T : 電話コーナー | DS : ダクトスペース(設備スペース) |
| ■ サービスEV | — 来客・サービス | SWC : スタッフトイレ | V : 自動販売機コーナー | EPS : 電気配管スペース(設備スペース) |
| | | SW : シャワールーム | L : ランドリーコーナー | |
| | | UB : ユニットバス | R : 冷蔵庫ロッカー | |

4階平面計画図 A3:1/400



◆病棟構成

●専門2(計60床)

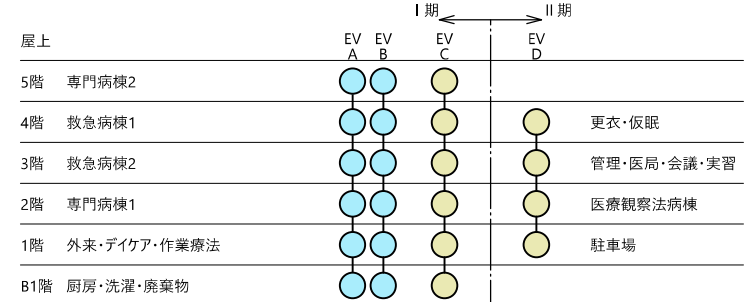
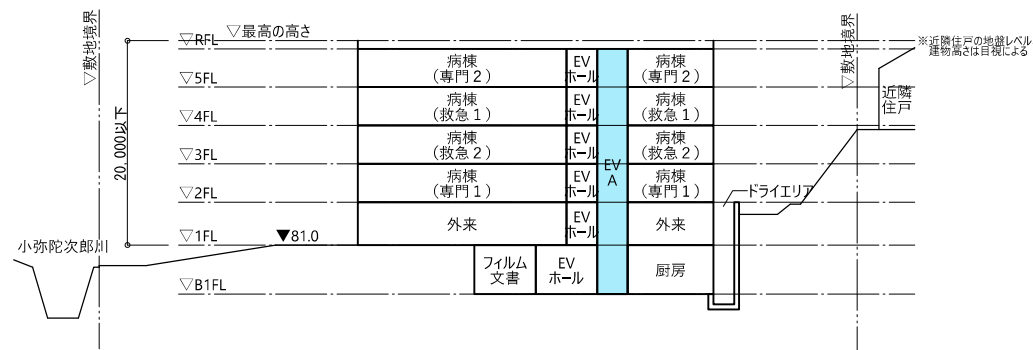
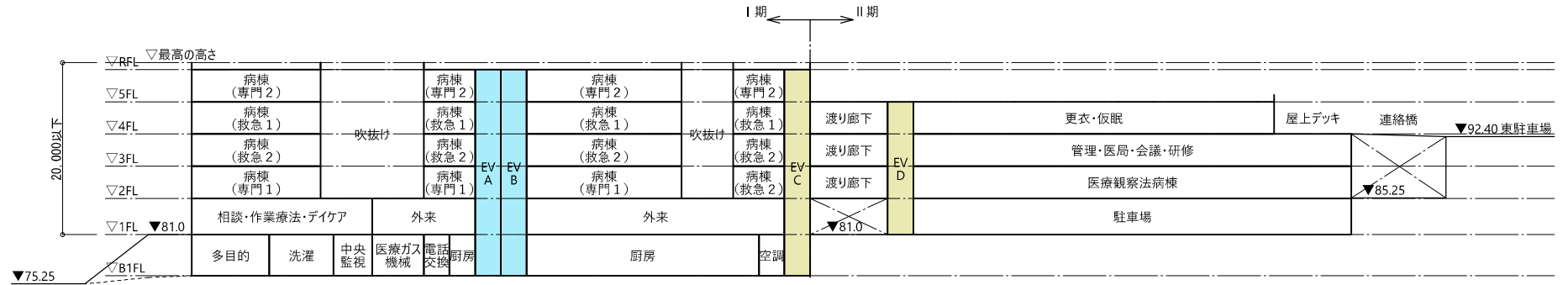
重度慢性：45床(うち隔離室10室、静養室3室)
 認知症：15床(うち隔離室1室、静養室2室)

■凡例

- | | | | | |
|----------------|-----------|-----------------|---------------|------------------------|
| ■ 一般・救急・サービスEV | — 患者・見舞い | WC : 一般トイレ(男女別) | EV : エレベーター | PS : パイプスペース(設備スペース) |
| ■ 救急専用EV(なし) | — スタッフ | HWC : 障害者用トイレ | T : 電話コーナー | DS : ダクトスペース(設備スペース) |
| ■ サービスEV | — 来客・サービス | SWC : スタッフトイレ | V : 自動販売機コーナー | EPS : 電気配管スペース(設備スペース) |
| | | SW : シャワールーム | L : ランドリーコーナー | |
| | | UB : ユニットバス | R : 冷蔵庫ロッカー | |

5階平面計画図 A3:1/400

2-4. 断面計画



主用途		I期		II期	
		EV A	EV B	EV C	EV D
一般	患者	○	○		
	見舞い	○	○		
	業者	○	○		○
サービス	スタッフ	○	○	○	○
	診療材料	○		○	
	薬剤	○		○	
	給食	○		○	
	リネン(清潔)	○		○	
	リネン(不潔)		○		○
	廃棄物		○		○
ご遺体		○			
救急		○	○		

- 凡例
- : 一般・救急・サービスEV
 - : 救急専用EV(なし)
 - : サービスEV

エレベーター 運用計画

断面計画図 A3:1/500

2-5. 床面積の比較検討

現状の床面積と計画の床面積の比較検討結果を以下にまとめる。

部門			現状面積		計画面積		現状比
			病床数： 256 床		病床数： 221 床		
	現状	計画	面積	比率	面積	比率	
			(a)	(a) / 延床面積	(a)	(a) / 延床面積	
病棟 <small>※廊下、階段等を含む</small>	第1病棟	救急1	874.00 m ²	7.7 %	2,309.00 m ²	12.2 %	2.64
	第2病棟	救急2	868.00 m ²	7.7 %	2,309.00 m ²	12.2 %	2.66
	第3病棟	—	705.00 m ²	6.2 %	m ²	%	—
	第5病棟	専門1	878.00 m ²	7.7 %	2,273.00 m ²	12.0 %	2.59
	第7病棟	専門2	881.00 m ²	7.8 %	2,164.00 m ²	11.4 %	1.24
	第8病棟		865.00 m ²	7.6 %			
	—	医療観察法	m ²	%	1,476.00 m ²	7.8 %	NEW
小計			5,071.00 m ²	44.7 %	10,531.00 m ²	55.5 %	2.08
外来	医事・受付		65.00 m ²	0.6 %	66.00 m ²	0.3 %	1.02
	警備		26.00 m ²	0.2 %	18.00 m ²	0.1 %	0.69
	PSW・こころのケアセンター		59.00 m ²	0.5 %	ケア・作業療法に 加算 m ²	— %	—
	外来・相談・救急		220.00 m ²	1.9 %	536.00 m ²	2.8 %	2.44
小計			370.00 m ²	3.3 %	620.00 m ²	3.3 %	1.68
診療	画像診断		36.00 m ²	0.3 %	106.00 m ²	0.6 %	2.94
	検査		110.00 m ²	1.0 %	145.00 m ²	0.8 %	1.32
	デイケア・作業療法		538.00 m ²	4.7 %	913.00 m ²	4.8 %	1.70
	体育館		m ²	%	医療観察法病棟に 加算 m ²	— %	—
小計			684.00 m ²	6.0 %	1,164.00 m ²	6.1 %	1.70
供給	薬局		77.00 m ²	0.7 %	90.00 m ²	0.5 %	1.17
	洗濯		141.00 m ²	1.2 %	126.00 m ²	0.7 %	0.89
	厨房		427.00 m ²	3.8 %	394.00 m ²	2.1 %	0.92
	小計			645.00 m ²	5.7 %	610.00 m ²	3.2 %
管理	事務・医局・会議等		357.00 m ²	3.1 %	630.00 m ²	3.3 %	1.76
	休憩・更衣・当直・委託等		402.00 m ²	3.5 %	504.00 m ²	2.7 %	1.25
	研修・実習		203.00 m ²	1.8 %	136.00 m ²	0.7 %	0.67
	理美容・売店		49.00 m ²	0.4 %	32.00 m ²	0.2 %	0.65
	霊安		23.00 m ²	0.2 %	25.00 m ²	1.1 %	1.09
	講堂		m ²	%	204.00 m ²	1.1 %	NEW
小計			1,034.00 m ²	9.1 %	1,531.00 m ²	8.1 %	1.48
共用 <small>※延床面積 -各部門面積</small>	廊下・階段・倉庫等		3,535.97 m ²	31.2 %	2,861.00 m ²	15.1 %	0.81
	地下駐車場		m ²	%	1,674.00 m ²	1.1 %	NEW
	小計			3,535.97 m ²	31.2 %	4,535.00 m ²	23.9 %
延床面積			11,339.97 m ²	%	18,991.00 m ²	%	1.67
延床面積 / 病床数			44.30 m ² / 床		85.93 m ² / 床		1.94

※延床面積は基本構想より引用+渡り廊下(既存図面より概算を算出)

※確認済証、検査済証等一部不足により、現状申請面積は不明

2-6. 課題事項の整理

設計時に検討の必要がある課題事項を次の三点に分けて整理を行う。

- ・ 各種法令
- ・ 敷地利用計画
- ・ 建築計画

(1) 各種法令

- ・ 開発行為に該当しない工事とするため、詳細なレベルの調査及び計画を行うこと。
- ・ 計画建物周辺の擁壁について、開発許可もしくは宅地造成等規制法の許可を取得しているか確認を行うこと。
- ・ 測量調査後、北側敷地に対する日影検討を行うこと。
- ・ 測量調査後、高度地区に係る絶対高さを検討すること。
- ・ 測量調査後、福祉のまちづくり条例等に適合するアプローチを計画すること。
- ・ 雨水抑制については、宇治市と協議の上、方針を決定すること。なお、放流先の小弥陀次郎川が京都府が管理する弥陀次郎川に接続することから、山城北土木事務所にも協議を行うこと。
- ・ 防火水槽の撤去・復旧について、管轄の消防と十分に協議すること。
- ・ II期棟竣工前にI期棟の使用が始まるため、仮使用申請を見据えた計画とすること。
- ・ 工事期間中の避難用敷地内通路を確保すること。

(2) 敷地利用計画

- ・ 工事期間中はグラウンド、農園が使用できなくなるため、患者用屋外活動スペースを確保できるか検討すること。
- ・ I期工事完成後(ステップ3～5の間)、I期棟付近に患者用駐車場の確保が可能か検討すること。
- ・ 東駐車場の駐車台数等は病院内で調整しているため、設計着手時に確認すること。
- ・ 工事用仮設道路として使用する農園は、工事後にどの範囲まで復旧するか、病院と協議を行うこと。
- ・ 医師住宅、看宿用敷地の売却を予定しているため、売却時期に合わせたインフラ計画を行うこと。

(3) 建築計画

- ・ 測量調査をもとに建物の建設可能範囲をチェックすること。
- ・ 玄関周りには車寄せを計画し、乗降動線とⅡ期棟地下への駐車動線の双方を確保すること。
- ・ Ⅰ期棟地下に公用車、送迎バス及びサービス用車両が駐車できるスペースを確保すること。
- ・ 病棟はできる限り個室を確保しながら、ゆとりのあるフロア計画とすること。
- ・ 入院患者が外気に触れられるスペースを計画すること。
- ・ Ⅱ期棟1階(地下レベル)に地下駐車場を整備し、現状の西駐車場と同規模の患者用駐車場を整備すること。
- ・ 医療観察法病棟のアプローチは周囲から目の付きにくい構造とすること。
- ・ 本館解体に際し(ステップ3)、既存建物の改修を行い、Ⅱ期棟に盛り込まれる事務・医局・会議機能を確保すること。移転候補先は第5・旧6病棟。
- ・ 工事期間中の駐車場等への動線と安全確保が必要
- ・ 平成30年4月1日施行予定の診療報酬改定に対応できるよう計画を見直すこと。